

## 一般国道191号の復旧までの道のり

7月28日(日)11時40分より、一般国道191号の萩市須佐<sup>はぎし すさ</sup>  
～阿武町間<sup>あぶちよう</sup>で、冠水・土砂崩落・法面崩壊等により、約16km  
区間を通行止めとしました。(7月29日早朝より、萩市須佐付<sup>はぎし すさ</sup>  
近の約5km区間に変更)。  
島根県益田市<sup>ますだし</sup>と山口県萩市<sup>はぎし</sup>を結ぶ幹線道路である国道191号の  
早急な復旧に向けた活動状況をお伝えします。

■7月28日(日)11時40分



一般国道191号の萩市～阿武町間<sup>はぎし あぶちよう</sup>において、豪雨に伴う道路冠水・土砂崩落・法面崩壊の発生を確認し、約16kmの区間を通行止めとしました。



■ 7月28日（日）9時10分



中国地方整備局では災害対策本部を設置し警戒体制をとり、被害状況の把握、救援・復旧作業等を指揮しています。

■ 7月28日（日）17時35分（規制開始後約6時間）



早期の道路啓開（障害を取り除き道を切り開くこと）のため、山口・島根両県の事務所から作業車・照明車等が出発。

（20時に現地到着）

通行止め区間内には足止めされた車両19台が確認されたため、職員が食料・飲料水を持って徒歩で支援に向かいました。



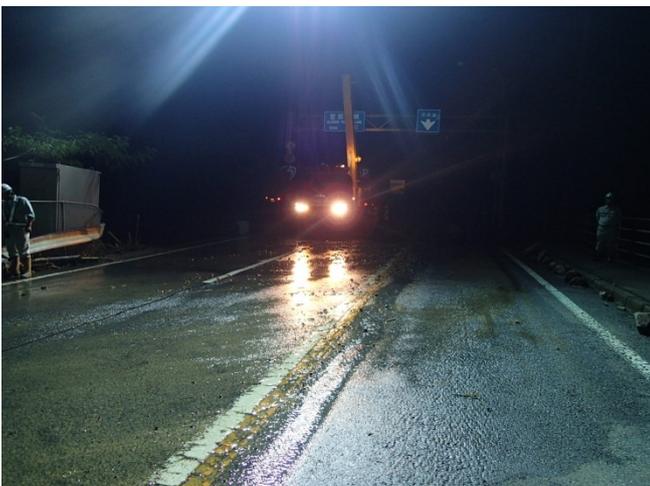
■ 7月28日（日）20時00分（規制開始後約8時間）



夜を徹しての啓開活動により、早期通行規制解除を目指しました。



■ 7月29日（月）0時45分（規制開始後約13時間）



道路啓開により、1車線を確保し、法面崩壊箇所までの進入路を確保しました。

（また、足止めされていた車両が通行止め区間から移動可能となりました。）

〈規制区間約16km⇒約5kmに縮小〉

■道路啓開の状況



法面崩壊・倒木:上下線通行止め



土砂流出:上下線通行止め(大刈トンネル)



下り線法面崩落:上下線通行止め

■ 7月29日（月）9時50分（規制開始後約22時間）



天候回復により防災ヘリでの被害状況を確認しました。

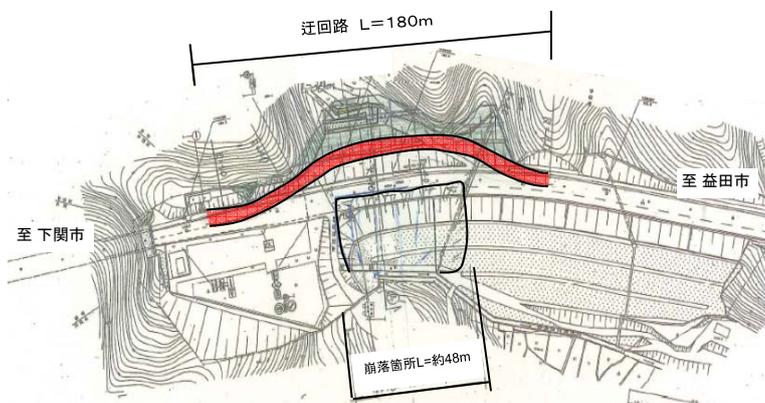
■ 7月29日（月）22時30分（規制開始後約35時間）



現地を管轄する事務所において早急かつ確実に復旧するための対策工法を検討しています。

### 法面崩壊箇所

平面図



■ 7月30日（火） 8時00分



現地に立ち入るための伐採作業  
や進入路の整備を行い、緊急復旧とし  
て迂回路工事を開始しました。

■ 8月1日（水） 6時00分



進入路工事のための大型土のう設置及  
びバックホウによる整地工事を行って  
います。

夜を徹して、24時間態勢で復旧工事  
を行っています。

■ 8月1日（水） 14時00分



崩落箇所を安定させるための作業を  
行っています。

■8月1日（木）16時00分



迂回路盛土のための基盤を作る工事を行っています。

■8月2日（金）7時00分



迂回路の盛土工事を行っています。

■8月2日（金）22時00分



夜を徹して盛土工事を行っています。